

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
213	日本語学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
日本語学	宮地 朝子(MIYACHI, Asako)	前期	月曜：2限	
講義題目 Title	『天草版平家物語』研究			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration				
授業の目的 Purpose	<p>『天草版平家物語』（文禄元（1592）年）をとりあげ、中世日本語の様相や、日本語史の諸問題について考察する。中世語の把握のために、古辞書類や日本語史資料を扱う方法を身につけるとともに、発表・議論の能力を磨くことも目的とする。</p> <p>The aims of this course are</p> <p>(1) To provide students with the factual linguistic knowledge on Middle Japanese.</p> <p>(2) To help students acquire the skills and proficiency needed for historical study on Japanese.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>『天草版平家物語』は、天草のイエズス会学林で刊行された、平家物語のポルトガル式ローマ字表記の抄訳本である。中世の口語を反映する資料を題材とすることで、中世日本語に親しむとともに、平家物語原拠本あるいは現代語訳との対照によって、日本語の歴史的変化に関する多様な課題を把握する。</p> <p>受講生が担当箇所について以下の作業を行い、問題点を設定し、分析して資料を作成、発表する。これをもとに全員で討論する。</p> <p>1) 基礎資料作り 底本の翻刻（ローマ字 かな書き，漢字仮名交じり文へ） 原拠本平家物語との比較対照 基礎データ作成（語釈・本文解釈）</p> <p>2) 中世語に関する考察：問題点・発展的課題の指摘 仮名遣い・表記、語彙・語法、文法等の観点から</p> <p>発表者は、90分の授業時間の議論に必要な基礎情報と問題点・議論の材料の提示という義務を果たすこと。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	<ul style="list-style-type: none"> ・『天草版平家物語』（影印（新典社研究叢書207、勉誠社文庫7-8）による） ・原拠本「平家物語」（担当箇所に応じて適切なものを使用する） 			
参考書 References	<ul style="list-style-type: none"> ・『天草版平家物語総索引』近藤政美ほか編、勉誠社、1982. ・『天草版平家物語対照本文及び総索引』本文篇、索引篇、江口正弘、明治書院、1986. ・『天草版平家物語全注釈』江口正弘、新典社2009. ・『天草版『平家物語』の原拠本、および語彙・語法の研究』近藤政美、和泉書院、2008. ・『天草版平家物語の語彙と語法』江口正弘、笠間書院、1994. <p>その他、授業中に指示する。</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	<p>授業前）発表で扱われる本文の該当箇所を読んでおく。</p> <p>発表担当者：授業前）発表資料の作成</p> <p>発表担当者：授業後）議論を踏まえての発展的調査・追究（レポート準備）</p>			

成績評価の方法と基準 Evaluation	以下の観点により総合的に評価する。 ・平常点（議論への参加・貢献度20%） ・担当回の発表（40%） ・期末レポート（担当回の発表・議論を踏まえてまとめる。発展的追究を含むものは高く評価する。）（40%）
連絡方法 Contact information	メール：miyachia@nagoya-u.jp